

第609回

I B C番組審議会 議事録

— 議 題 —

「ニュースエコー」

平成28年4月20日（水）

（株）I B C 岩手放送

第609回IBC番組審議会

1. 開催日程 平成28年4月20日(水) 午前11時

2. 開催場所 IBCデジタルセンター3階Dホール

3. 委員の出席 委員総数 10名

出席委員 9名

出席委員の氏名

委員長 田代 高章

委員 村井 康典 小松 務

佐藤 善通 宮 順子

龍澤 尚孝 澤口 たまみ

岩田 圭司 畠山 俊彰

欠席委員の氏名 熊谷 志衣子

会社側の出席

鎌田 英樹 代表取締役社長

川上 隆 常務取締役営業本部長

神 初見 取締役放送本部長

武田 敏哉 編成局長

中島 勝志 報道局長

大志田 融 報道部副部長

萩原 康弘 テレビ編成部副部長

事務局

若槻 修 番組審議会事務局長

平澤 泰志 番組審議会事務局員

4. 議 題 「ニュースエコー」

5. 議事の概要

<委員の主な発言>

- 新キャスターの江幡アナウンサーは、落ち着いた語り口で歯切れが良く、八幡平の取材では若い頃の好奇心旺盛な感じも垣間見られた。照井アナウンサーとは違うキャラクターが立っていて番組のリニューアル感が出ていた。
- 自分の感想や気持ちをポイント、ポイントで出すところが、非常にわかりやすく、身近に感じて親しみやすかった。
- 今までの落ち着いた感じから、蛍光色を大胆に使ったポップなセットに変わり、雰囲気も若々しく華やかになった。キャスターの印象もそれにマッチしている。CMの前後もかなり変わった。外の風景を映してからCMに入るのは季節感があり、保育園の子どもたちの映像も微笑ましい。
- 際立ったスタジオであれば、アナウンサーの服装がスタジオに負けないということも視覚的に大事ではないか。また、キャスターは映像がなくても伝わるように、今後なお自分らしい言葉、表現力を磨いていってほしい。
- 八幡平の雪の回廊はジオラマを使って説明していて、先頭のショベルカーの様子など初めてわかったこともあり、非常に面白く見た。黄色いワッペンのニュースでは1965年、総理に母親が手紙を出してから始まったという全然知らなかった歴史もわかりやすくて良かった。
- 東日本大震災の風化を避ける意味でも毎週水曜日の「復興の羅針盤」は今後とも継続して欲しい。
- 被災地からの中継で、照明のオンオフによるアンケートがあった。3軒のサンプルだったが、それが本当に全体の代表的な意見なのかどうか気になった。